



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」

～ 認め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たしましい子(体)

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページは <http://osato-esaitama-city.ed.jp/>

メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

令和6年4月26日 第2号

期待感のある学校

校長 新堀 栄

木々の緑が色を増し、眩いほどの若葉をわたる風に何とも言えぬ心地よさと自然の活気を感じます。風薫る5月。一年で一番過ごししやすい季節を迎えます。自身の通勤路では、大宮氷川参道のけやしき並木の新緑に清々しさと活力を感じるようになりました。

明日からの連休は、どのようにお過ごしでしょうか。新聞もテレビも連日のように、本格的な「コロナ禍明け」の観光地の特集が様々に組まれています。

さて、新学期が始まり、ひと月程が経ちました。お子様の様子はいかがでしょう。新しいクラスには、もう慣れたのでしょうか。校内を回っていると、「おはようございます。」「こんにちは。」など、気持ちのよい挨拶をする子が増えてきたように思います。また、子ども達が落ち着いて授業に臨んでいる様子や、活発に意見を交わす様子が見られます。声に張りがあり、目が輝いているのです。まるで、子ども達の張り切っている心の輝きが伝わってくるようです。

先日、同じように校内を回っていた折に、各クラスに掲示してある「自己紹介カード」に目がとまりました。そこには、自分の趣味や特技、クラスみんなに一言や今年の目標という記述欄がありました。5年生のあるクラスでは、「新しく委員会や家庭科が始まるので頑張りたい」、「大きい声で誰にでも挨拶する」という目標とともに、「自分たちよりも下の学年のお手本になるように生活していきたい」という、高学年としての責任感や意気込みを書いている児童の言葉がありました。子ども達の新しい学年でのワクワク感や期待感、そして希望、その他にもクラスに必要な安心感、信頼感、所属感など、いろいろな要素が詰まっているものでした。私自身が担任時代の学級経営目標は、「学校に来ることが楽しいと思える学級づくり」でした。立場が変わっても、現在の学校経営の重点の一つが「子どもにとって、来ることが楽しいと思える学校づくり」は変わりません。

4月の人事異動があり、まだまだ新体制が整ったとは言い難いですが、毎朝、子ども達が期待に溢れワクワクすることができるよう、職員一同、そんな学級・学校をつくっていきたいと思います。

そして、子ども達も、5月の空に元気に泳ぐ鯉のぼりの如く、大きくたくましく成長してほしいと思います。